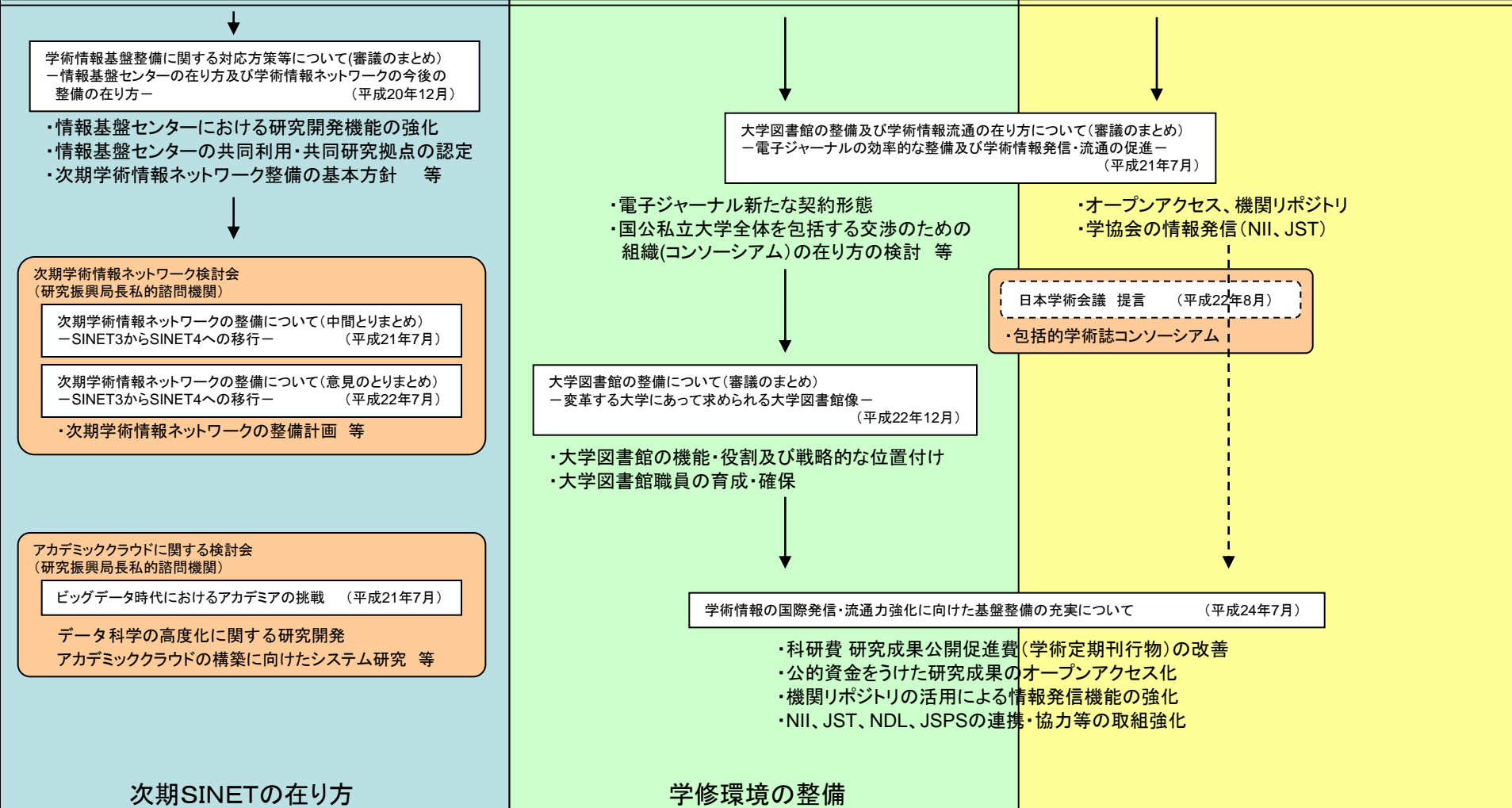


# 学術情報基盤作業部会における検討経緯等

## 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)(平成18年3月)

<p><b>学術情報基盤としてのコンピュータ及びネットワークの今後の整備の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ等の設備、基盤的ソフトウェア、コンテンツ及びデータベース、人材、研究グループそのものを超高速ネットワーク上での共有(最先端学術情報基盤)</li> <li>・大学等における学術情報基盤の整備</li> <li>・学術情報ネットワークの整備</li> <li>・ハイ・パフォーマンス・コンピューティングの在り方 等</li> </ul>	<p><b>学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学図書館の戦略的位置付けの明確化</li> <li>・電子化への積極的対応</li> <li>・全国的基盤としての目録所在情報サービスの枠組みの強化</li> <li>・大学図書館のサービス機能の強化とそれを担う人材育成・確保 等</li> </ul>	<p><b>我が国の学術情報発信の今後の在り方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果情報の受・発信の国際的なアンバランス状態の解消</li> <li>・学術雑誌の一層の品質向上の必要性</li> <li>・論文評価の適正化</li> <li>・オープンアクセス運動への対応</li> <li>・アーカイブ化への対応 等</li> </ul>
--	--	--



次期SINETの在り方

学修環境の整備